

# 令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【北九州市】

学校名【北九州市立 塔野 小学校】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	4年生 2クラス 54名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科等名 (総合的な学習の時間「だれもが関わり合えるように」) ② 行事名 ( ) ③その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	車いすバスケットボール選手の話を知り、競技用車いす体験をしたりして、誰もが気持ちよく生きていくために必要なことを考え、実践していこうとする心情を養う。
5 取組内容	<p>○第一次 11月</p> <p>①車いすを使って生活をしている人や視覚に障害をもつ人の体験を行い、歩き方・介助の方法について知る。(1時間)</p> <p>②視覚に障害がある人が生活するうえでどのような問題があるか予想し、調べる。(2時間)</p> <p>○第二次 11月</p> <p>①車いすバスケットボール選手からの講話や車いすバスケットボール体験を通して、人間の強さ、生きがい、仲間、豊かな生活について考える。(2時間)</p> <p>11月30日(火) 5・6校時</p> <p>・車いすバスケットボール福澤翔選手の話を知り、</p>



←チャレンジする  
大切さや今、力を  
注いでいる活動に  
ついて話をされる  
福澤選手

・福澤翔選手から車いすの操作や競技に関する説明を習い、車いすバスケットボール競技を体験する。



≠車いすバスケットの楽しさやおもしろさを味わう児童たちの姿

○第三次 12月

①国語科「感動を言葉に」の学習を通して、感動したことを詩に書く。(3時間)

車いすバスケット	隼人	車いすに初めて乗った ワクワク ちゃんと動くかな ウキウキ シュート入るかな ドキドキ シュート入らなかったら 悲しいな	これができる人って 本当に すごいな
----------	----	---	--------------------------

児童の詩より

②「だれもが関わり合えるように」の学習を振り返る。(1時間)

6 主な成果	<p>○車いすバスケットボール体験を通して、競技の楽しさを体感するとともに、競技者である福澤翔選手のすばらしさを実感することができた。</p> <p>○障害をもって生活することは大変であるというイメージから、障害をバネに前向きに生きることの大切さ、人としての強さを学ぶことができた。</p>
7実践において工夫した点(事業の特色)	<p>○パラリンピックで注目を集めた車いすバスケットボールの身近なアスリートをゲストティーチャーとして招聘し、児童の興味・関心を高めた。</p> <p>○競技用車いすを関係機関より無償で借りることができ、車いすバスケットボールを児童全員に体験させることができた。</p> <p>○また、昨年は車いすの輸送に本校PTAの支援を得て、オリパラ事業の意義を保護者にも広めることができた。</p>
8主な課題等	<p>○障害者スポーツについての情報は多くなってきているが、各競技内容やアスリート、障害者スポーツの意義についてさらに理解を深める必要がある。</p> <p>○本校の総合的な学習の時間の単元構成を検討し、福祉教育の視点を生かしながらも新しい教材開発に取り組んでいきたい。</p>
9来年度以降の実施予定	<p>○新学習指導要領に従い新しい教育課程での継続を考えている。</p> <p>また、5年生を対象にした車いすバスケットボール競技への参加も検討していきたい。</p>